

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

泉第 18040 号)

1 申請者

住 所 栃木県鹿沼市今宮町 1 6 8 8 番地 1

氏 名 鹿沼市長 佐藤 信

2 浴用に供する場所等

浴用に供する場所 鹿沼市高齢者福祉センター

浴用に供する場所における温度 冬期 4 2℃ 冬期以外 4 1℃

3 源泉名及び湧出地

源 泉 名 鹿沼温泉 (仮称やすらぎの湯)

湧 出 地 栃木県鹿沼市酒野谷 1 0 0 6 番地

泉 質 ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物温泉 (低張性弱アルカリ性温泉)

採 取 場 所 源泉直近のドレイン

4 採取場所における調査及び試験成績

(1) 調査及び試験者 一般社団法人 栃木県薬剤師会検査センター 氏名 藤本亨 上野一利

(2) 調査日 2 0 1 9 年 3 月 6 日

試験年月日 2 0 1 9 年 3 月 6 日

(3) 泉温 3 9 . 1℃ 【気温 1 1℃ (調査時)】

(5) ゆう出量 6 1 . 6 ℓ/min

(4) 利用量 -- ℓ/min

(6) 知覚的試験 微黄褐色殆ど透明、微塩味、無臭である。

(7) pH値 7 . 9

(9) ラドン (Rn) 含有率 未測定 $\times 10^{-10}$ Ci/kg (-- M・E/kg)

(8) 電気伝導率 3 0 4 . 0 ms/m (2 5℃)

5 試験室における試験成績

(1) 試験者 一般社団法人 栃木県薬剤師会検査センター 藤本亨 上野一利

(2) 分析終了年月日 2 0 1 9 年 3 月 1 4 日

(3) 知覚的試験 (採取 4 8 時間後) 微黄褐色殆ど透明、微塩味、無臭である。

(4) 密度 1 . 0 0 0 g/m³ (2 0℃/4℃)

(5) pH値 7 . 9 5

(6) 蒸発残留物 1 . 9 9 2 g/kg (1 3 0℃)

6 試料 1 kg 中の成分、分量及び組成

(1) 陽イオン

成 分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン (Na ⁺)	8 1 3 . 7	3 5 . 3 9	9 8 . 2 6
カリウムイオン (K ⁺)	6 . 2	0 . 1 6	0 . 4 4
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	7 . 3	0 . 3 6	1 . 0 1
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	1 . 1	0 . 0 9	0 . 2 5
第一鉄イオン (Fe ²⁺)	0 . 4	0 . 0 1	0 . 0 4
陽イオン計	8 2 8 . 7	3 6 . 0 1	1 0 0

(2) 陰イオン

成 分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ素イオン (F ⁻)	4 . 6	0 . 2 4	0 . 6 8
塩化物イオン (Cl ⁻)	3 4 1 . 5	9 . 6 3	2 7 . 0 2
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	5 1 . 0	1 . 0 6	2 . 9 8
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	1 4 6 6 . 4	2 4 . 0 3	6 7 . 4 0
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	2 0 . 5	0 . 6 8	1 . 9 2
陰イオン計	1 8 8 4 . 1	3 5 . 6 4	1 0 0

(3) 遊離成分

○非解離成分

成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	3 3 . 3	0 . 4 3
メタホウ酸 (HBO ₂)	3 . 8	0 . 0 9
非解離成分計	3 7 . 1	0 . 5 2

溶存物質 (ガス状のものを除く) 2 . 7 5 0 g/kg

○溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO ₂) (遊離炭酸)	31.0	0.70
遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.00	0.00
非遊離成分計	31.0	0.70

成分総計 2.781 g/kg

(4) その他の微量成分

総水銀 (Hg) 0.0005 mg 未満 鉛 (Pb) 0.005 mg 未満 クロム (Cr) 0.005 mg 未満
銅 (Cu) 0.005 mg 未満 カドミウム (Cd) 0.005 mg 未満 総ひ素 (As) 0.005 mg 未満

7 判定

温泉法第2条別表に掲げる温度及び物質を有するものに該当し温泉とする。

8 禁忌症、適応症等

浴用の禁忌症	浴用の適応症
温泉の一般的禁忌症： 病気の活動期（特に熱のある場合）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くとき息苦しくなるような重い心臓病又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期 泉質別禁忌症：	療養泉の一般的適応症： 筋肉もしくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え症、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進 泉質別適応症： きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症

浴用上の注意事項

ア (1) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。 (2) 過度の疲労時には体を休めること。 (3) 運動後30分程度の間は体を休めること。 (4) 高齢者、子供及び体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (5) 浴槽に入る前に、手足からかけ湯をして温度に慣らし、体を洗い流すこと。 (6) 入浴時、特に起床直後の入浴の際等は脱水症状にならないよう、予めコップ一杯程度の水分を補給すること。
イ (1) 入浴温度：高齢者、高血圧、心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (2) 入浴形態：心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (3) 入浴回数：入浴開始後数日間は、一日あたり、1～2程度とし慣れてきたら2～3回まで増やしても良いこと。 (4) 入浴時間：1回あたり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで増やしても良いこと。
ウ (1) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (2) 浴槽から出るときは、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。 (3) めまいが生じ、又は気分が良くないときは、近くに助けを求め、頭を低く保って浴槽からゆっくり出て横になり回復を待つこと。
エ (1) 体に付いた温泉成分を洗い流さず、タオルで水分を拭き取り服を着て保温し、30分程度の安静を心がけること。（但し、肌の弱い人は、必要に応じて温泉成分を洗い流した方が良いこと。） (2) 脱水症状を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
オ 温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れる場合がある。このような間は、入浴を中止するか、回数を減らし回復を待つこと。
カ 浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルを入れないこと。

(1) 禁忌症、適応症決定年月日：2015年12月7日

(2) 決定者：栃木県西保健所長

9 成分に影響を与える項目

①加水している場合（理由）	ゆう出量がやや少なく、不足を補うため
②加温している場合（理由）	源泉温度が低温のため、入浴に適した温度に保つためボイラー温水により加温
③循環している場合（理由）	温泉資源の保護と衛生管理のため、循環ろ過装置を使用
③入浴剤等添加している場合（物質の名称及び理由）	なし
④消毒処理をしている場合（消毒の方法及び理由）	衛生管理の為、塩素系薬剤・紫外線を使用

2019年4月16日

登録番号：14 栃薬1号

指定分析機関の名称：一般社団法人栃木県薬剤師会

所在地：栃木県宇都宮市緑五丁目1番5号

代表者の氏名：代表取締役 渡邊 和裕

○気泡浴は水道水を循環・加温しており、
温泉水ではありません。